

オーストラリア 多文化共生社会体験プログラム

達成目標

- オーストラリア文化を学び、独自の意見を持つ
- 多文化共生社会について理解を深める
- 英会話を実践し、ホストファミリーと心を通わせる

実施期間：2月中旬～3月中旬 約5週間(予定)

滞在：ホームステイ

担当教員から一言

(池田英喜准教授)

本プログラムは、多文化共生社会であるオーストラリアにおいて、異文化体験学習(現地市民へのインタビューによる課題調査及びホームステイ)と英語研修を行うことにより、参加学生の異文化理解を促進することを目的としています。さらに、来るべきグローバル/多文化共生社会を円滑に運営するための中核を担う人材作りを目指しています。

様々な人種の間が一緒に暮らしている社会に身を置き、文化が異なるとはどういうことを肌で感じてもらえるプログラムです。

オーストラリアプログラムのここがオススメ!

このプログラムの大きな魅力は、①5週間滞在する間、現地の家庭にホームステイできること(各家庭1名ずつ)、②英語研修はレベル別にクラス分けされ、他の国の留学生と一緒に授業を受けられることです。

異文化体験を主としたプログラムのため、参加時の英語力は一切問いません。英語に全く自信がないというあなたも、躊躇することなく、ぜひ積極的に参加してください。

日本から8～9時間のフライトと意外に近いオーストラリア。プリズベンとの時差はわずか1時間のため、日本での生活サイクルを保ったまま初日から意欲的に活動することができます。週末は、世界初で最大のコアラ保護区、ローンパイン・コアラ・サンクチュアリーを訪ねたり、ゴールドコーストへ足を伸ばしたりと、思い思いの過ごし方が可能です。

過去の参加学生からは、「わからないことだらけの土地で何でもトライしてみようという度胸が付き、使える英語がどんどん増えていった」、「文化・習慣・価値観の違いを肌で感じ、その違いを肯定的に受け取ることができ、自分の成長を感じた」、などの感想が寄せられています。本プログラムへの参加をきっかけに、交換留学等の長期留学を実現した先輩も少なくありません。学生の満足度が大変高いプログラムです。



ホストファミリーと一緒に

フィリピンALLC英語研修

達成目標

- 英語の4技能を集中的に鍛える!
- フィリピンの社会・文化・歴史を体感する!
- アジアや世界から見た日本について考える

実施期間：2月中旬～3月下旬 約5週間(予定)

滞在：キャンパス隣接宿舎

担当教員から一言

(蒙韞准教授)

2020年度から新しく担当教員を引き継ぎました。コロナ禍のため2020年度以降は実施できておらず、私もまだ現地へ行くことができていませんが、早く日常に戻ることを願って皆さん、一緒に頑張りましょう。

フィリピンALLC英語研修のここがオススメ!

フィリピンの公用語は英語で、英語教育の質が高いことに定評があります。経験豊富な教員による充実した授業が、他の英語圏の国々と比較すると非常に安価で受講することができます。英語力を向上させて、より長期の留学を目指す学生にとっては最適な研修の機会となるでしょう。実際に、本プログラムへの参加をきっかけにアテネオ・デ・マニラ大学に交換留学を実現した先輩もおり、他大学への交換留学等にも繋がっています。

研修期間中は、キャンパス隣接の宿舎に滞在します。ケソン市ならびに大学周辺の地域は治安もよく、コンビニや飲食店が充実しています。

今、世界中の企業の中でも東南アジア

の国々が注目を浴びています。これから世界へ飛び出そうとしている若者にとって、現地を肌で感じる貴重な経験となります。

参加学生の声

- ◎効果的なカリキュラムで、参加前よりも英語学習へのモチベーションが上がった。
- ◎少人数クラスで、個々の学生に合わせてプログラムを提示してくれるのがよかった。
- ◎授業時間が長く、短期間であってもスキルの向上に繋がった。
- ◎ALLCの授業ではアクティブラーニングがメインで、より実践的に英語力を高められた。
- ◎他の国の留学生と一緒に授業を受けられてよかった。フィリピンだけでなく、他の国の文化も知ることができた。世界の現状について関心を持つようになった。
- ◎周辺のスーパー、薬局、飲食店が充実しており、生活に困らなかつた。



ケソン市内の景色



研修内容

異文化体験学習として、参加学生は現地での課題が与えられます。課題は、現地市民(ホームステイ先の家族等)にインタビューを行い日豪社会の比較及びその問題点を調査し、レポートにまとめることです。現地でインタビューしてまとめることが目的なので、課題は事前には知らされません。

英語研修では、レベル別にクラス分けされ、様々な国籍の留学生とともに週25時間のGeneral English Courseを受講。リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングを含めたコミュニケーション能力の向上を目指します。

研修先について

クィーンズランド工科大学(QUT) インターナショナルカレッジ

プリズベン市内から2キロの距離にあるQUT Kelvin Groveキャンパス内に立地。語学としての英語を学ぶコースや大学正規入学に備えるためのコースがあります。少人数クラスで、経験豊富な講師陣とスタッフに加え、コンピュータ・ラボや語学学習ラボなど、学生専用の学習施設も充実しています。

す。本プログラムでは個人のレベルに合わせて学べるよう、初級クラス(Elementary)から上級クラス(Advanced)までのレベルに分かれ、General English Courseを受講します。

スケジュール

月～金：QUTインターナショナルカレッジ 英語研修コース受講

土日：自由行動



オリエンテーション・デーのキャンパス風景



様々な国籍のクラスメイトと



研修内容

フィリピン・マニラ市近郊のケソン市にあるアテネオ・デ・マニラ大学の言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))において、英語研修を実施します。研修は、リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4技能の強化・向上を目的としており、期間中は1日あたり約6時間の英語学習を行います。参加者のレベルに応じてクラス分けされ、様々な国籍や文化的背景をもった人々と同じクラスで学びます。

研修先について

アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ言語学習センター(The Ateneo Language Learning Center (ALLC))

アテネオ・デ・マニラ大学は、1859年に設立されたフィリピンのトップレベルのカトリック系総合大学です。研修先であるALLCは、アテネオ・デ・マニラ大学の人文科学部の附属センターで、世界各国から学生を受け入れており、参加者のレベルに応じたクラスに分け、1クラス10名程度の少人数クラスで授業が実施されます。

なお、新潟大学は、アテネオ・デ・マニラ大学と2017年に大学間交流協定を締結しており、より長期の留学を希望する学生は、1～2学期間、交換留学制度により留学することが可能です。

スケジュール

月～木：英語研修(一部金曜日にも授業あり)

土日：自由行動



授業風景



マニラ大聖堂